

# 中学校体育館視察

昨年11月16日、議員一同は中学校体育館の現地視察を行なった。前回、8月の視察では鉄筋コンクリート剥き出しの基礎段階であったが、今回、工事の進捗率は50%で80m×36mの外観はほぼ出来上がっていた。巨大クレーンで鉄骨を乗せたアーチ型の屋根の組み立てはほぼ完了し、体育館内はピケ場を組んでいる状態であった。高さ15mの天井は国際規格のバレーボールコートが2面とれる広さで、巨大な空間を作っている印象すらあった。壁で仕切られた隣の武道場は2階が卓球場となっており、こちらも国際規格の卓球面が6つとれる広さである。関係者の話によると、8月以降は晴天に恵まれ、また台風の影響もなく工事は順調に進んでいるということであった。予定通り2月には完成し、3年生にとっては体育館完成第一号の記念となる卒業式を迎えるであろう。



高畑広視

## 読まれ親しまれる 議会広報を目指して

昨年11月19日、福岡県自治会館において、町村議会広報研修会が開催され、上毛町議会から広報委員長ら委員、事務局全員が参加しました。研修は、熊本日日新聞の越地真一郎氏を招いて『読まれ、親しまれる議会広報』と題して講義を受けました。講義の中で、議会広報クリニックとして8議会が過去に発行した広報紙を提出しました。議会広報紙の評価を織り交ぜ、読みたくなる広報紙にするための紙面づくり、企画立案、記事の書き方、見出しのつけ方、レイアウトの仕方、写真の撮り方、校正のポイントを教授いただき、『読まれ、親しまれる議会広報』が町民と議会との距離を近づける働きがあることの重要性を改めて認識しました。今回の研修成果を今後の紙面づくりに生かし、皆さんに読んでもらえる広報紙を目指して研鑽を積んでいきます。

茂呂孝志



### 第4回定例会一般質問

# ここがたいき聞

茂呂 孝志 議員

- 介護保険事業のあり方は
- 上水道事業は
- 町内の各小学校にエアコン設置を
- し尿処理事業
- 無償譲渡した3施設の今後の運営は

## 介護保険事業のあり方は

**問** 平成21年度の事業収支は5億6千万円の黒字、基金残高も26億8千万円溜めており、46億円借りていた借金も、平成21年度に返済が完了しているのも聞わず、平成22・23年度も毎年5億348万円返済するように保険料を算定しているが、町単独でこの事業を実施した場合の保険料はいくらになるのか。

**答** 健康福祉課長

非常に詳細な検討が必要になります。町単独での保険料は算定していません。

**問** 田川市は単独で実施した場合の保険料を試算している、月額6275円が5327円と948円も負担が少なくなっています。上毛町も単独で実施した場合の保険料を試算する考えがないのか。

**答** 健康福祉課長

正確に算定できる方法があれば試算することはやぶさかではありません。

## 上水道事業は

**問** 新たに町が水道事業を拡張しようとしている地域は、人口減による水需要減と加入希望者50%前後で運営できるのか。

**答** 建設課長

加入希望者50%では健全な運営はできません。

**問** 伊良原ダムが完成したら、新たに1日300tの水を配水するののか。

**答** 建設課長

水道事業計画の際、家庭の井戸水の使用を考えなくて必要水量を計算しています。

## し尿処理事業

**問** し尿処理手数料は36円当たり、大平地区が430円、新吉地区が420円です。手数料は2村合併前までに統一するとなっていたが、手数料は金額の低い方で統一しないのか。

**答** 住民課長

慎重に協議していきます。

**問** くみ取り量がわかるように、バキュームカーに流量計を取り付けさせるべきではないか。

**答** 住民課長

取り付けに1台100万円

**問** 来年度エアコン設置の予算化を考えているのか。

**答** 教務課長

そういったことも含めて準備しています。

## 無償譲渡した3施設の今後の運営は

**問** 町長は3施設を民間に無償譲渡することで、診療所は未来永劫存続できると考えて提出したのか。

**答** 町長

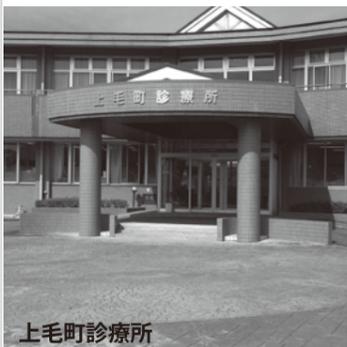
未来永劫のことばの判断は難しい、診療所が続く限り維持して欲しいと思う。敬愛会を信じている。

## 町内の各小学校にエアコン設置を

**問** 今年の夏は暑かった。児童の健康保持、教育環境の向上を考えてエアコンを設置すべきでないか。

**答** 教務課長

設置に向けた準備をしています。



上毛町診療所

